

Game Report

開催場所：鹿屋体育大学

試合区分：第 26 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2019 年 10 月 19 日(土)

C C : 田中 智也

試合時間：15:00～

U 1 : 和田 敏文

U 2 : 鳥羽瀬 晓天

東海大学九州	○ 100	25	—1st—	10	● 73	鹿屋体育大学
		32	—2nd—	18		
		16	—3rd—	25		
		27	—4th—	20		

第 1 クオーター

鹿体大 #23 松井のドライブから試合がスタート。序盤、東海大は #23 中村や #7 石橋の 3P シュートから得点を重ねていく。対する鹿体大はインサイドを軸に得点を試みようとするが、東海大の激しいディフェンスに阻まれる。中盤以降、勢いの止まらない東海大はさらに #23 中村のジャンプシュートなどにより得点を重ねる。鹿体大は #21 池浦がゴール下で力強さを見せるも、東海大の勢いは収まらず 10-25 の東海大リードで第 1 クオーターを終える。

第 2 クオーター

序盤、鹿体大は #2 櫻谷の連続得点で点差を縮めていく。対する東海大は #6 石井が 2P シュートと 3P シュートを立て続けに沈め、点差をさらに広げにかかる。流れを引き寄せたい鹿体大は残り 7:55 タイムアウトを請求する。その後、鹿体大は #21 池浦がゴール下で存在感を示し、反撃を試みる。中盤以降、東海大は #6 石井の 3P シュートでさらにリードを広げていく。なかなか流れを引き寄せられない鹿体大は残り 3:13 再びタイムアウトを請求する。この後、鹿体大はインサイドを中心に得点を重ねるも、東海大の素早い展開についていけず 28-57 の東海大リードで第 2 クオーターを終える。

第 3 クオーター

序盤、鹿体大は #12 川尻を起点にオフェンスを展開し、得点を重ねていく。対する東海大は前半同様、素早い展開でオフェンスを展開するもなかなか得点に繋がらない。流れを引き寄せた鹿体大は #21 池浦のバスケットカウントからリードを縮めていく。中盤以降、東海大は #7 石橋が 3P シュートなどで得点を重ねるも、鹿体大は #21 池浦の勢いが止まらずさらにリードを縮める。点差を縮められる東海大であったが。終盤立て続けにジャンプシュートと 3P シュートを決め、53-73 の東海大リードで第 3 クオーターを終える。

第 4 クオーター

最終クオーター、東海大は #6 石井が連続して 3P シュートを沈める。対する鹿体大は #23 松井がドライブから得点を重ね、応戦する。その後もシュートが落ちない東海大に対して流れを引き寄せたい鹿体大は残り 6:39 タイムアウトを請求する。この後、#21 池浦がゴール下で立て続けに得点を重ね、点差を縮めようと試みる鹿体大であったが東海大は高精度でシュートを決め続けなかなか点差が縮まらない。最後まで走り続けた東海大が 100-73 で勝利した。